

黒部市中教研 研究計画

会長 川 端 浩 嗣
 会員数 65 名

1 本年度研究の基本方針

各教科、道徳、特別活動等の実践的研究を推進し、自主性・創造性・社会性を重んじた中学校教育の活性化を図るとともに、自ら考え主体的に判断し行動できる資質や能力と、互いに認め合い励まし合う豊かな心を身に付け、たくましく生きる生徒の育成を目指す。

- (1) 指導内容を小・中・高等学校一貫の立場から見通し、相互の関連を図りながら系統的・発展的な指導に努める。
- (2) 各教科、道徳、特別活動等の基礎的・基本的な知識及び技能が確実に身に付くよう、個に応じた指導の充実を図る指導計画、指導方法や指導体制の工夫・改善に努める。
- (3) 生徒の自主的・自発的な学習活動を促し、考えを深め合い、思考力、判断力、表現力等を養うとともに、学び方が身に付く指導計画、指導方法の改善に努める。
- (4) 指導計画や指導方法の改善に生かすため、学習の過程や成果を評価規準に基づいて評価し、指導と評価の一体化に努める。
- (5) 研究の成果を振り返り、日常の教育実践に生かすことができる研究の継続と累積に努める。

2 部会構成と研究主題

番号	部会名	部員数	研 究 主 題
1	国語	11 (重複5)	言語による見方・考え方を働かせ、思考・判断・表現する言語活動を通して、国語の資質・能力を育成するための指導はどうあればよいか。 －言葉に対する自覚を高める言語活動の工夫－
2	社会	7 (重複3)	社会的な見方・考え方を働かせ、社会的事象を主体的に追究する生徒を育てるには、どのようにすればよいか。 －教材開発や学習活動の工夫と指導と評価の一体化－
3	数学	7 (重複2)	数学的に考える資質・能力を育成するために、学習の成果を的確に捉え、指導の改善を図るとともに、生徒自身が自らの学習を振り返って、次の学習に向かうための指導と評価はどうあればよいか。 －「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた授業改善を通して－
4	理科	11 (重複2)	理科の見方・考え方を働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 －生徒自らが事前の事物・現象への関わりの中で得た気付きから、疑問を形成し、課題を把握・設定することを目指す指導の工夫－
5	音楽	3 (重複1)	幅広い音楽活動を通して、「音楽的な見方・考え方」を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 －生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育む授業づくり－
6	美術	3	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための学習指導はどうあればよいか。 －美術科の特質や学習過程を踏まえた I C Tの効果的な活用－

7	保体	8 (重複1)	心と体を一体として捉え、生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活を営む態度を育てる学習指導はどうあればよいか。
8	技術・家庭 (技術)	2	「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 －生活にいかすための問題解決的な学習の充実－
9	技術・家庭 (家庭)	2 (重複1)	「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 －生活にいかすための問題解決的な学習の充実－
10	英語	9 (重複4)	コミュニケーション能力を養うにはどのように指導したらよいか。－聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して－
11	特支	7 (重複)	特別な支援を必要とする生徒の個性や能力を伸ばし、自立と社会参加を推進する指導はどうあればよいか。
12	保健	2	生涯にわたって主体的に心身の健康づくりに取り組み健康で安全な生活を営む能力や実践的な態度を育てる健康教育はどのようにすればよいか。 －生徒が心身の健康について理解を深め、主体的に健康な生活を実践するための指導の工夫－
13	道徳	6 (重複)	主として人との関わりに関する道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める道徳科の授業はどうあればよいか。 －評価との一体化を意識した指導－
14	特活	6 (重複)	学級活動を通して身に付けるべき資質・能力を育成するための指導はどうあればよいか。

3 年間計画の概要

月	会 合 名	会 場	内 容
4	第1回協議会 部 会	明 峰 中	令和4年度役員・事業・予算等の承認 研究組織・研究主題・年間計画の作成
6	部 会	清 明 中 明 峰 中	教材研究、研究の視点の明確化、指導案の 作成と検討、授業研究、事後研究等
9	部 会	清 明 中 明 峰 中	教材研究、作成と検討、授業研究、 事後研究等
10	東部地区大会	各 会 場	授業研究、研究発表と協議等
1	部 会 合同講演会	黒部市国際文 化センター	令和5年度事業経過・会計中間報告 講演会
2	第2回協議会	明 峰 中	本年度研究のまとめと反省

4 留意事項

- (1) 学習指導要領のねらいや考え方を踏まえて研究を推進するとともに、学習指導要領の中核をなす「生きる力」を育む教育を推進するために、研究組織、研究内容、研究方法の改善を図る。
- (2) 県中教研の計画を踏まえ、研究の継続性を重視しながら、実践的・組織的研究を推進する。
- (3) 次年度以降の研究の方向を見通しながら、年度ごとの成果と課題を踏まえて研究計画を立て、研究を推進する。
- (4) 学力調査の結果をS－P表等を活用して分析し、きめ細かな学習指導に生かすとともに、確かな学力が身に付くよう、研究を推進する。

